

TOPICS

～今後（10月まで）の懇話会の進め方の展望について～

今後の懇話会の
進め方の柱

- ① 基本計画の検討（4～5月）
- ② 実際の行動に移してみる（6～8月）
- ③ 計画策定後の懇話会のあり方検討（9・10月）

今、ここ！

基本計画の検討
（4～5月）

- ◆ポイント（個別目標の方向性4～5つ程度）を絞って、計4回（2回で1セットとし、2セット実施）にわたり基本計画の検討を行います。
- ◆1回目は事務局側の考え共有・疑問点の洗い出し、2回目は意見交換・情報共有を実施。

実際の行動に移してみる
（6～8月）

- ◆これまでの懇話会で議論した内容のファーストステップを実際の行動に移してみる。
- ◆※これまでの議論から「いかに総合計画を多くの人に知ってもらうか、いかに情報を多くの人と共有できるか」という点がポイントとなっています。
- ◆SNS等の活用などの「情報発信・共有の仕組み」の試行を、とことん懇話会や既存団体との協働で実施できればと思います。

計画策定後の懇話会
のあり方検討
（9・10月）

- ◆市民と行政の相互理解・信頼関係向上が進み、市民が育つ場について検討します。
- ◆※これまでの取組を通して得た知見を、策定後の懇話会のあり方に反映していきます。

基本計画・
行動計画の
進捗管理につ
なげる

とことん1

到達目標 前回議論した内容について、ふりかえりましょう

第26回で優先順位づけを行った「今後議論するテーマ（個別目標の方向性）」のふりかえりを行いました。以下は、各グループで選んだテーマの一部抜粋です。

岸和田の次世代を育むまち①	・食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める ・地域と連携し、子どもの社会的な心を育む
岸和田の次世代を育むまち②	・登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める ・子ども一人ひとりが輝けるための適切な支援を行う
健康で自分らしく生きられるまち	・平和への意識向上を進める ・障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める
安全で安心して暮らせるまち	・発災時にみんなが迅速に柔軟に対応できる環境づくりを進める ・交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める
人と自然が共生した住みよいまち	・ごみの減量と資源の有効活用など4Rを進める ・まちの美化を進める
賑わいと活力を創造するまち	・拠点へのアクセス性の向上を図る ・まちのイメージを向上させる環境づくりを進める

第27回目もオンラインで開催しました。基本計画のブラッシュアップを図るため、第26回の議論で優先順位づけを行ったテーマ（個別目標の方向性）について、グループごとにさらなる議論を重ねました。

■開催概要

第27回：令和4年 4月10日（日）
場 所：オンライン＋市役所新館4階第1委員会室（臨時オンライン会場）
参 加 者：市 民：現地オンライン 4名 オンライン 12名
若手職員：現地オンライン 5名
議 題：1. 前回のふりかえり
2. 基本計画の検討（個別目標の方向性を絞って議論 その①）
3. 次回について

とことん2

到達目標 基本計画のブラッシュアップに向けて、各グループのテーマ（個別目標の方向性）について意見交換しましょう

選んだ個別目標の方向性について、検討資料をもとに、グループごとに意見交換を行いました。

グループ	議論の内容（一部抜粋）
岸和田の次世代を育むまち①	登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める →全体を通じて「子ども食堂」の役割や内容を共通認識しておく必要がある。
岸和田の次世代を育むまち②	妊娠を望む家庭や子育てで家庭の不安解消や精神的負担、経済的負担の軽減を進める →「子どもを生み育てやすいと感じている市民の割合」など、当事者を対象としたものを設定する必要がある。
健康で自分らしく生きられるまち	個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する →「差別が地域にある人の割合」が少し増えている。市民が現状を知り、どのように変わっていけばいいかが考えられる指標を設定するのがよい。
安全で安心して暮らせるまち	発災時にみんなが迅速に柔軟に対応できる環境づくりを進める →「災害被害者の福祉の増進を図る」について「災害被害者に対して1日でも早い“復興・復旧”に取り組む（努める）」という書きぶりの方がよい。
人と自然が共生した住みよいまち	ごみの減量と資源の有効活用など4Rを進める →環境にやさしい製品等の製造も大切であり、生産者側の役割を記載した方がよい。
賑わいと活力を創造するまち	まちのイメージを向上させる環境づくりを進める →興味関心を持っている世代層（ターゲット）に即した発信が大事。ホームページのアクセス件数だけでなく、解析等で効果的な手法を検討することが必要である。

とことん3

懇話会後の参加市民・若手職員からの感想です



市民

- 現状と課題から、めざそうとする指標や各主体それぞれの役割について見直しすることができました。
- グループでの意見交換時間が100分あったので、じっくりと話し合いができたと思います。
- 環境への負荷への軽減については、単にごみの量を減らせばよいのではなく、様々な側面から考えることが必要であると、改めて気づかされました。



若手職員

など

■今後の予定

【第28回】令和4年 4月 24日（日） ➡ 基本計画の検討（個別目標の方向性について）

お問い合わせ：岸和田市役所 総合政策部企画課 政策担当 （tel. 072-423-9492）